

## 蒲生岳・会津朝日岳

毎日新聞旅行

2・3日

女が15人、男が5人のツアーである。大阪から来ている人も数人いたようである。

ツアーリーダーはベテラン主婦の上野さん、アシスタントは佐野さんである。佐野さんとは初めてである。初めてですねと挨拶したら、普段は毎日新聞社の社員で土日だけツアーガイドをしているという。そんな人もいた。山での現地ガイドは声の大きな女性で林千晶さん。



蒲生岳全景

### 蒲生岳 828m

以前にどこかのツアーで会った人に、“蒲生岳はバカにして登ると痛い目にあいますよ”と言われたことがある。200名山の会津朝日岳へ登るついでに山といった感じであるが、高速を小出で下りて浅草岳のへりを回って、沼田街道を北東へ進むと蒲生岳のとんがりが見えてくる。往復しても2時間半であるからバカにしてかかれても仕方がない。しかし登り路は急登に次ぐ急登である。しかもこの日はえらい暑い日であった。女性二人とジイサーマー人が途中でリタイアした。頂上に近づくほど傾斜が急になるのには参った。

JR 只見線は会津川口駅～只見駅間が現在運休中である。2011年の新潟・福島豪雨の際に鉄橋などが流されて、再建するためには85億円かかり、もともとが赤字線であるので復活する見込みはないようである。



一部廃線化した只見線

会津朝日岳 1624m



天気予報は雨である。大雨という説さえある。ツアーリーダーの上野さんは、“私は晴れ女だから多分大丈夫です”とは言うが夕方雨が降って夜中も降ったようであるので、当日の朝になったら“私の晴れ貯金も利息を使い切ったかしら”に変わってきてしまった。林ガイドも“渡渉がきつくならなければいいんだけど”と心もとない話ばかりである。朝 5 時の旅館出発時はどんより厚い雲が垂れ込めている。歩き始めは霧雨程度であり、それもたいしたことなかったのですぐに雨具は脱いだ。このまま持ってくればいいが、と思いながら歩く。渡渉もたいしたことはない。三吉ミチギの水場を過ぎてジグザグ道を登る。林ガイドが“私の歳と同じだけ曲がったらジグザグも終わりです”という。“23回ですか”と質問してやる。2倍してもおつりがくるかな。避難小屋を過ぎて頂上まであと 30 分というところでまた雨になってしまった。前回の神室山にはまだ花があったが、ここはほとんど花もなく景色どころでもないので、頂上はまたもや写真を撮っただけ早々に引き上げた。降りは完全な雨空になってしまった。林ガイドが“今まで案内した中で一番早かったです”と言い、上野リーダーも“今年の記録より 1 時間早かったです”と言っていたが、それほど早く歩いたわけではない。要は何も見るところがなかったのである。